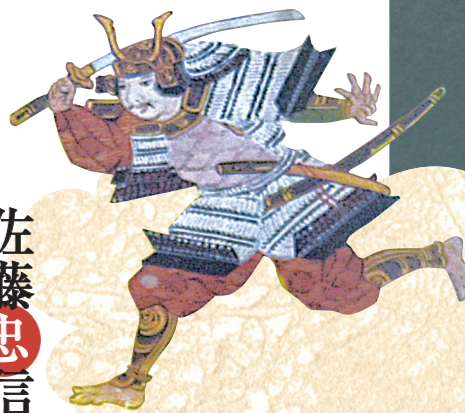




付近に佐藤一族の居館があったと考えられる館ノ山からは、一族の菩提寺・医王寺(写真手前中央)が見える



佐藤一族が念持仏^{ねもちぶつ}として信仰していた薬師如来が祀られている。医王寺奥の院薬師堂
※念持仏…本尊として信仰する仏。



佐藤忠信

特集

義経と 佐藤一族

佐藤一族と
奥州藤原氏

かつてこの信夫の地を治め

戦いの世に生きた佐藤一族。

中でも源義経とともに戦った

つぐのぶ、ただのぶ
継信、忠信兄弟の生きざま

彼らを中心とした家族との物語は

時を超えて今なお

多くの人々を魅了し続けています。

9月に福島市で開催される

「義経・与一・弁慶・静・継信・忠信

合同サミット」にちなみ

今回は、佐藤一族の伝承

そしてそのゆかりの地

飯坂町をご紹介します。



医王寺に建てられた、源義経(写真中央)と
佐藤忠信(写真左)、佐藤継信(写真右)の像



右 / 忠信奮戦
左 / 継信最期
医王寺瑠璃光殿 所蔵

佐藤一族をめぐる その後の物語

兄弟の父・基治は、文治五年(一八九)、石那坂(福島市平石)に入った頼朝軍を迎え撃ちますが敗北、囚われの身となります。しかし、後に許されて基治は信夫の地に戻ったとも伝えられています。その後佐藤一族は、鎌倉時代以降も長く信夫の地に住み、後世も多くの子孫が活躍しました。

飯坂町中心部の西方に位置する館ノ山付近の平地に、佐藤一族の居館、大鳥城があったと考えられています。山頂は現在公園となり、石碑などが残るのみですが、そこからは、かつて佐藤一族が治めた信夫の地を一望することができます。戦いの世に生きた彼らが眺めたであろうその景色。皆さんもゆかりの地を訪れ、一族の歴史に思いをはせてみませんか。



佐藤継信

この兄弟の活躍は、彼らと縁のある全国各地で伝説として語り継がれています。後に「吾妻鏡」「平家物語」などにも登場し、さらに広く知られることとなりました。

治承四年(一一八〇)、主君である藤原秀衡の命により、信夫庄司、佐藤基治の息子、継信と忠信は、平氏討伐の源頼朝の陣営に参加するため平泉を去る源義経につき従いました。その後の平氏との戦いの中で、兄・継信は屋島(香川県)の戦いで放たれた矢から義経をかばって戦死。そして平氏滅亡後、源頼朝と対立し追われる身となった義経

平安時代末期、平泉を中心とした東北地方で大きな勢力を誇っていたのが、奥州藤原氏でした。現在の福島市を中心とする藤原氏の荘園、信夫庄を長く治めていたのが佐藤一族。藤原氏の一族で、信頼の厚い家臣でもありました。

主君の命に従い、 義経を守り抜いた兄弟

「佐藤」という名も、一族に「左衛門尉」という官職に就いた者が多く「左衛門尉藤原」を略したことが由来だともいわれています。

医王寺瑠璃光殿



医王寺瑠璃光殿には佐藤兄弟らが使用したと伝わる鞍(くら)や鎧(あぶみ)、弁慶が奉納したと伝わる「鍍金装笈(とぎんそうおい)」などが展示されている
※笈…修験者などが仏具などを入れて背負う箱。